

潘逸舟とやんツーが「Tokyo Contemporary Art Award 2026-2028」受賞。 授賞式・受賞記念シンポジウムを3月4日に開催します。

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団は、世界に発信すべき中堅アーティストの更なる飛躍を促すため、現代美術の賞「Tokyo Contemporary Art Award」を実施しています。この度、第6回受賞者2名が決定しましたのでお知らせいたします。

また、授賞式及び受賞記念シンポジウムを3月4日（水曜日）に東京都現代美術館で開催予定です。

1. 「TCAA 2026-2028」受賞者（2名） ※敬称略、五十音順。賞の概要は別紙をご確認ください。

・潘逸舟（はん いしゅ）



撮影：野村佐紀子

1987 年上海生まれ、東京都在住。
2025 年東京藝術大学大学院映像研究科博士後期課程修了。
「第36 回 タカシマヤ美術賞」（2025年）、「日産アートアワード 2020」グランプリ受賞。

・やんツー



撮影：中川 周

1984 年神奈川県生まれ、神奈川県在住。
2009 年多摩美術大学大学院デザイン専攻情報デザイン研究領域修了。
「TERRADA ART AWARD 2023」寺瀬由紀賞、「第21 回文化庁メディア芸術祭」アート部門 優秀賞（2018年、菅野 創と共同）受賞。

2. 授賞式及び受賞記念シンポジウム

（1）日時

2026年3月4日（水曜日）14:00-16:10 ※開場は13:30

（2）会場

東京都現代美術館 地下2階 講堂（東京都江東区三好4-1-1）

（3）タイムスケジュール

14:00-14:30 授賞式

14:40-16:10 受賞記念シンポジウム

（4）その他

入場無料、要事前申込、先着順。日英同時通訳、日本手話通訳あり。

（5）申込方法

公式サイト[の予約フォーム](#)より3月2日（月曜日）までにお申込みください。



▲予約フォーム

本件は、「[2050東京戦略](#)」を推進する取組です。
戦略15 文化・エンタメ「アーティスト・クリエイターを育成」



▲2050東京戦略

受賞者プロフィール等の詳細は[公式サイト](#)をご確認ください。▶



【問い合わせ先】

生活文化局文化振興部文化事業課 電話 03-5000-7235
公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館
トーキョーアーツアンドスペース事業課 電話 03-5245-1142

「Tokyo Contemporary Art Award」 概要

【目的】

国内で実績があり、世界に発信すべき中堅アーティストのステップアップを促し、世界で活躍するアーティストの登竜門となるような賞を通じ、東京の文化都市としての魅力を向上させる。

【対象】

海外での活動に意欲があり、10年以上の活動歴を有する現代美術の分野で活動する中堅アーティスト（ジャンル不問）

【特徴】

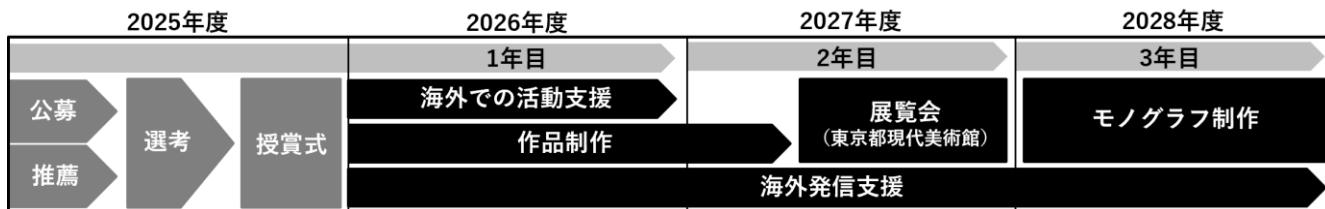
- ・スタジオ訪問や面接により、作品のみではなく、制作のプロセスを含めたアーティストのポテンシャルを総合的に審査
- ・東京都現代美術館での展覧会実施、海外発信支援等、受賞から複数年をかけて継続的に支援

【支援内容】

受賞者は2組とし、それぞれに以下の支援を行う。

- （1）賞金300万円
- （2）海外での活動支援上限200万円（旅費、滞在費、調査・制作費等）
- （3）展覧会の実施（東京都現代美術館での展示、2027年度予定）
- （4）モノグラフ（作品集）の作成（上記（3）の展覧会実施後に制作）・海外発信支援

【賞のスケジュール】



Tokyo Contemporary Art Award 2026-2028 選考委員（順不同／敬称略）

ホセリーナ・クルス	マニラ現代美術デザイン美術館（MCAD）ディレクター兼キュレーター
近藤健一	森美術館 シニア・キュレーター
高橋瑞木	CHAT 館長兼チーフキュレーター
野村しのぶ	東京オペラシティアートギャラリー シニア・キュレーター
レズリー・マ	メトロポリタン美術館 ミン・チュー・シュウ & ダニエル・シュウ 近現代美術部門 キュレーター
近藤由紀	トーキョーアーツアンドスペース プログラムディレクター

※肩書きは令和7（2025）年12月末時点のもの

【選考会運営事務局】 特定非営利活動法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT／エイト]